

【令和5年度用 様式1-表】 令和5年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書(案)

学校番号	62	豊田市立 追分小 学校	代表	山田 人巳
------	----	-------------	----	-------

※分野【a:国際交流・国際理解、b:地域連携、c:自然体験、d:環境教育、e:学力向上、f:交流体験、g:福祉・ボランティア、h:伝統文化、i:その他()】から選ぶ。

テーマ	生き生きと学び合い、地域を笑顔にする追分っ子の育成	分野	i	その他
サブテーマ	学び合いの力を身に付け、自ら他者や地域にかかわっていく追分っ子	i(その他)は分野を右欄に記入	地域連携・学力向上	
学校づくりの視点(ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・本校は、現職教育研究主題「ねばり強く、生き生きと学び合う追分っ子の育成 一リーダー学習を通して、自ら学ぶ力を育てる」の下、子どもの主体的な学びの力を育成している。 ・地域学校共働本部は、学校運営に地域の力を積極的に導入し、地域で育つ追分っ子の育成をめざしている。地域の方々の力強い協力で今後も子どもの居場所づくり事業「カワセミクラブ」を運営していく。 ・地域の力を活用することで、地域に愛され、地域で生かされ、地域を笑顔にする追分っ子を育成する。 ・少人数のアドバンテージを生かし、一人一人が活躍できる場を保障し、きめ細やかな個別支援によって子どもたちの主体的な学びの力を育成する。 ・主体的な学び合いの力を身に付けさせることで、自信をもって自己表現したり、他者に関わっていったりする態度を育てる。 			
活動内容・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・追分小学校伝統のシンボル「がんばり山」は、「学びと遊びのフィールド」として地域の方々にも愛されている。「1年生を迎える会」(4月)「全校遊び」(通年)、自然観察会(年間2回)などの児童の活動の場として活用するため、整備と清掃活動を行う。 ・自然観察会や各教科の授業を通して「がんばり山」や地域にある「森生山」、「朝日川」「巴川」の自然に触れ、地域の方や保護者と一緒に環境整備活動をしたり、地域の歴史を学んだりすることで、地域を愛し、地域の方に愛される態度や心を育てる。実際に、植樹、昆虫採集や魚釣り、鮎の放流等の体験を通して、地域の方とのふれ合いをしていく。 ・地域の伝統芸能「棒の手」の演技を地域の方から学ぶことで(運動会の演技・高学年の総合的な学習)、地域の方との交流を楽しんだり、地域の歴史や伝統を学んだりして、地域を誇りに思う態度や心を育てる。 ・毎日の登下校で交通安全の見守りをしてくださる地域の方に感謝して、気持ちのよい挨拶の声を響かせることで、地域に笑顔の花を咲かせる。 ・元城小学校との交流活動を通して、地域の自然や地域のよさを他地区と比較する中で学び、中学年の学びを全校や地域に広げていく。本校での体験の時には、がんばり山や朝日川で動植物の観察や魚釣りの体験等を行う。 ・地域の方からの指導を受けて学級花壇や学校農園での栽培活動を行い、地域の方との交流を楽しむ。 ・地域講師を招いて、歌声の響かせ方やトーンチャイムの演奏練習をしたり、陶芸体験をしたりして表現活動を楽しむ。(足助ふれあい祭り・学習発表会・卒業式) ・一輪車の演技練習を通して、ねばり強さや協力の心を育て(運動会)、長距離走や縄跳びなどの運動を通して体力づくりを行う(体育的行事)。 ・読書活動や探究的な学習の支援として、司書の力を活用して図書館の学習・情報センターとしての機能の充実を図る。 ・算数の授業を中心にして、自分の考えや思いを交流し合うリーダー学習、子ども授業参観を進めることで、他者にかかり、自分の世界を広げる力を育成する。 			
補助員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・「がんばり山」等の整備のために校内整備員の配置。 ・図書館の学習・情報センター機能の充実を図るために司書の配置。 ・子どもの体力向上のため取り組む一輪車や長距離走、縄跳びや日々の体育の授業の充実を図る体力向上補助指導員の配置。 			
実績・期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「棒の手」を学ぶことで、地域の棒の手保存会の練習場に通うなどの自発的な行動が見られたり、地域や保護者から棒の手活動を支持する声があつたりしたことから、子どもが積極的に地域の方と関わるようになったと分かる。これは、地域を愛し、地域に愛される姿と言える。 ・「がんばり山」を常に整備しておくことで、「学びと遊びのフィールド」としての活用回数が増えたり、児童が自然に親しんで地域の豊かな自然を誇りに思う気持ちが育つ。 ・合唱練習やトーンチャイムの練習、陶芸活動を行うことで、自信をもって歌ったり演奏したりでき、自己表現の楽しさを知ったりできる。 ・地域の方の協力を得て子どもの居場所づくりの事業を行うことで、子どもが安全に放課後を過ごすことができる。保護者の安心感や信頼感が高まり、地域みんなで地域の子どもを見守る気持ちがつながることで、地域の笑顔が広がり、地域で子どもは育っていく。 ・体力を付け、健康に留意した生活を送ることで、健康で元気な心身を養う。 ・主体的な学びの力を育てることで、授業の中で積極的な発言や行動が見られ、かかわり合いのある授業展開ができる。 			
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの評価。 ・「がんばり山」活動の内容や児童の声。 ・各取組における教師の意見や児童の様子。 ・発表の場である「運動会」「交流活動」「学習発表会」「ふれあい祭り」での児童の様子や発表内容。 ・図書館の利用回数や貸出冊数、図書の種類や活用状況。また、教師や児童の声。 ・学校アドバイザーや地域の方の声など。 ・算数の授業を中心とした各授業における児童の様子や学びの成果。 			